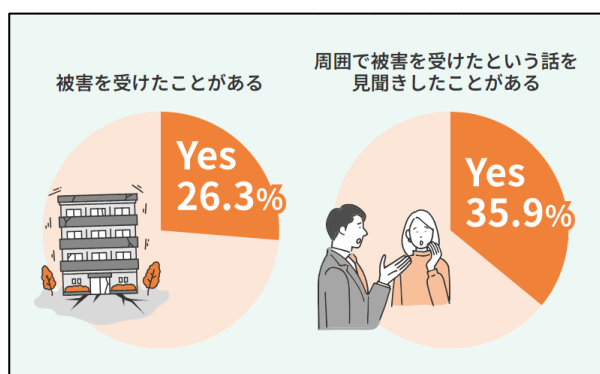


＜「中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2024」の概要＞

- ・調査報告書 URL : https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/assets/pdf/sme_report2024.pdf
 - ・調査期間：2024 年 11 月 18 日（月）～21 日（木）
 - ・調査方法：インターネット調査
 - ・調査対象： 中小企業の経営者および従業員
- ＜条件＞損害保険契約関係者（決定権あり／選定関与）
- ・サンプル数：1,050 サンプル

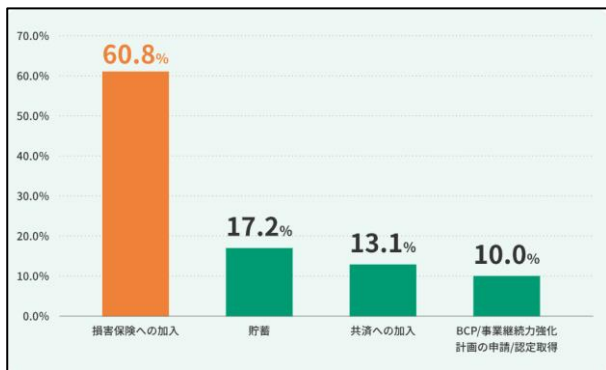
1. 中小企業の **4 社に 1 社**が何らかのリスクによる被害を受けており、**実際に被害にあった企業の約半数（47.8%）**が「**リスクに対する備えが不足していた**」と回答

- ・全体の 26.3%が、勤め先の企業が「何らかのリスクによる被害を受けたことがある」、全体の 35.9%が「周囲で被害を見聞きしたことがある」と回答しています。
- ・被害に遭った際の企業の考えとしては、「リスクに対する備えが不足していたと思う」（47.8%）、「被害額がこんなにも高くなると思っていなかった」（47.5%）が半数弱で特に高く、リスクを認識し、万が一の被害に備えることの重要性がうかがえます。



2. リスク対策としては、「**損害保険への加入**」が **60.8%で最多**。以下「貯蓄（17.2%）」「**共済への加入（13.1%）**」「**BCP の申請等（10.0%）**」と続く

- ・リスク対策としては、「損害保険への加入」が 6 割を占めており、以下「貯蓄（17.2%）」「共済への加入（13.1%）」「BCP の申請等（10.0%）」と続いています。特に「勤務中や移動中における損害賠償」「自然災害」「製造物に関する損害賠償」は「損害保険への加入」によって対策している割合が高くなっています。
- ・実際に被害にあった企業においても、約半数（48.9%）が取るべき対策として、「損害保険への加入」と回答しており、備えとしての損害保険の有用性がうかがえます。



3. 損害保険で備えたいリスクは、「自然災害（41.2%）」が最多であるが、近年は「サイバーリスク（32.8%）」への注目度が上昇傾向

- ・損害保険で備えたいリスクは、「自然災害」が41.2%で最も高く、以下「サイバーリスク（32.8%）」、「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少（25.7%）」と続いています。
- ・「サイバーリスク」は例年1割半ば程度であるところ、今年は3割強で大幅に増加しています。また、事業活動を行ううえで「サイバーリスク」を認識している企業が43.2%と前年度から20%以上増加していることから、「サイバーリスク」の注目度が上昇していることがうかがえます。注目度が上昇している要因としては、2024年6月に立て続けにサイバー攻撃が起こったことなどが考えられます。



<まとめ>

近年、事業者を取り巻くリスクは多様化しています。中小企業の約8割(79.0%)が事業活動を行う中で何らかのリスクを認識しており、その中でも「自然災害」「サイバーリスク」へのリスク認識や損害保険への加入意向が高い結果となっています。

一方で、損害保険の加入率は、「火災保険」は6割強(64.6%)、その他の保険は4割未満に留まっています。損害保険に加入しない理由としては、「リスクが発生する可能性は低いと考えているため(33.4%)」が最多です。

しかしながら、中小企業の4社に1社が何らかのリスクによる被害を受けており、実際に被害に遭った企業の約半数(47.8%)は、「リスクに対する備えが不足していたと思う」と回答しているため、リスクを自分事として捉え、万が一の被害に備えることが重要です。

身近に潜むリスクやリスクへの備えとしての保険を知るために、一度、保険会社・損害保険代理店に相談してみてもはいかがでしょうか。